

10803医薬品製造業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	16 ～ 17	産業廃棄物集積用コンテナに積まれた廃棄物の袋を積み直し、上に乗って足で踏み固めていたところ、足を滑らせて高さ150cmのコンテナの上から後ろ向きに地面に落下し、左手首を骨折した。	59	1	611	50 ～ 99
2	2020	1	10 ～ 11	ガラス製のベッセルを洗浄し所定の位置に戻すため、両手にベッセルを持って移動していた際、ベッセル同士がぶつかって破損し、左手人差し指に切創を負った。	27	8	379	300 ～ 499
3	2020	1	16 ～ 17	派遣先工場洗浄室で、清掃したばかりの濡れた床面で足を滑らせて転倒し、後頭部および腰部を打撲した。	40	2	417	100 ～ 299
4	2020	1	6 ～ 7	出張先の本社へ向かうとき、自宅から駅へ自転車で移動中、左手に持っていた傘が自転車の前輪に巻き込まれた。その際、自転車が急停車し、体が前方に投げ出され、顔面から地面に叩きつけられて、右肩の打撲と右顔面に擦り傷を負った。	56	17	231	30 ～ 49
5	2020	1	15 ～ 16	工場の包装室で、段ボールケース（縦30cm×横30cm×幅20cm、重さ6kg）を持ち上げローラーに載せる作業中、腰椎捻挫を負った。	32	19	611	50 ～ 99
6	2020	1	17 ～ 18	帰宅の際、階段を踏み外して転倒し、右膝を骨折した。	64	1	413	100 ～ 299
			9	工場の冷凍機タンク内へ溶液搬入作業中、タンク上部から階段を下				50

7	2020	1	10	りている最中に足を滑らせ転落し、防油提および地面に強打し、頭部擦過傷、背骨を折った。	66	1	413	～	99
8	2020	2	10	工場、クラス10,000クリーンルームのエポキシ系の塗床を、無塵服を着用して歩行していたとき、不織布製のシューズカバーが滑り、仰向けに転倒した際に、右手を強く床につき、右手首を骨折した。	62	2	417	～	299
9	2020	3	18	アイボン充填室で生産終了後の清掃時、コンベア動力部カバー拭き掃除を行っていたところ、ローラーにウエスが巻き込まれ、反対側からウエスが出てきたため、巻き込まれたウエスを取り除くために手を入れた際、手袋の先が巻き込まれ、右示指PIP関節挫傷、右中指基節骨骨挫傷を負った。	48	7	224	～	499
10	2020	3	17	当社内作業場で搬送箱（段ボール500×800、折り畳み5枚）をパレットから移動させるため同僚と持ち上げ、後ろ向きの際に足下を引っ掛けて転倒し、右膝内側半月板を損傷した。	35	2	379	～	99
11	2020	3	12	作業へ向かう途中、側溝のグレーチングの端に足が引っ掛かり、側溝に右足がはまって親指を骨折した。	23	7	418	～	299
12	2020	4	11	荷受け室で、入荷した荷物をパレットから保管用のカーゴテナーに積み替える作業を行っていた。約30kgの荷物を持ち上げ、カーゴテナーの奥側に置こうとしたが、手前側に既に物が置かれていたため、体と持ち上げている荷物との間に距離が生じ、腰への負荷が増えて腰部に激痛が走った。	38	19	611	～	499
13	2020	4	17	退社時に更衣室で着替える際、ズボンを履き替えようと片足を上げたところ、バランスを崩し転倒して、左腰部付近を強打して、左大腿骨頸部を折った。	52	2	921	～	299
14	2020	4	15	排水処理施設から退室する際、約8cmの段差を降りようとして、傾斜があったため左足を挫いて第5中足骨を折った。	41	19	921	～	29

15	2020	6	10 ～ 11	医薬品錠剤を圧縮する機械で異音がしたため、機械を稼働させた状態で背面のガラスカバーを開け、左手を機械本体に添え、そこに体重を掛けた状態で確認のため右手で金属カバーを開けようとした。そのとき、左手が滑ってそのまま機内に入り、示指が機械の枠とローターの間挟まり左示指末節部挫創を負った。	28	7	169	～ 299	100
16	2020	6	11 ～ 12	工場抽出室で、抽出槽加熱中、スチームバルブが閉まっており、クラッチドアを誤って開けるスイッチを押した際、クラッチドアが開き、高温の抽出液が落下し、腰から脛脛に熱傷を負った。	18	11	391	～ 99	50
17	2020	6	7 ～ 8	工場敷地内で歩行中、グレーチングに足を滑らせ側溝に落下し、左肘頭部不全骨折、左脇腹に打撲を負った。	54	2	417	～ 499	300
18	2020	7	8 ～ 9	フェルビナクの粉末原料（ビニール袋入り、10kg）を、段ボールを開け、中腰でビニール袋を取り出そうとしたところ、段ボールが引っ掛かったため、段ボールを足で押さえ、袋だけを上に引っ張り上げようとしたところ、腰を痛め、肉離れを負った。	39	19	921	～ 299	100
19	2020	7	7 ～ 8	研究所で動物飼育管理業務を担当していた。業務内容は清掃・消毒、ケージ交換、蓋交換、ノズル交換、ツナギ運搬および補充、動物用飼料運搬および施設内搬入作業、動物施設内でのケージ類運搬、床敷き充てん、20kgの飼料運搬、ケージ積み替え等で腰に痛みを感じ、長期休暇前の業務量増加により、椎間板ヘルニアを発症した。	45	19	921	～ 299	100
20	2020	7	11 ～ 12	工場の血しょう仕込み室で、血しょうBagの製袋機のローラに右手を巻き込まれ、右手中指を切断した。	24	7	169	～ 299	100
21	2020	7	10 ～	工場内にて1人で廃油ドラム3本を廃油ドラム置き場へ搬出する際、リフトにドラムを載せ、真ん中のドラムにドラムポーターを引っ掛けた状態でリフトを少し上げ、ドラムポーターの状態を確認しよう	39	4	362	～	50

			11	とリフトの前に移動した。その際、ドラムポーターが外れて落下してきて胸を打ち、左第2肋骨を折った。				99
22	2020	8	19 ～ 20	切裁室で、横引きコンベア（床上約1m）の上で、開梱ボックスに入った生薬を掻き出していた。作業が完了し、コンベアから下りようとした際、コンベアの縁に右足の甲が引っ掛かって転落し、左腕を骨折した。	48	1	224	500 ～ 999
23	2020	8	11 ～ 12	充填包装エリアで、製品カートン（約3.2kg）を台車から持ち上げた際、腰を痛め、急性腰痛症を発症した。	43	19	611	300 ～ 499
24	2020	8	14 ～ 15	工場では、酢酸をポリタンクに手動ポンプで入れる作業中、止めるため空気弁を開放したが、止まらず、酢酸がポリタンクからあふれ、右足甲に掛かり、火傷を負った。	63	12	379	1～ 9
25	2020	8	14 ～ 15	実験室で、分析試験中、ガラス遠沈管に溶液を入れ、ネジ口を閉めた際、遠沈管が破損し、割れた部分で右手親指と人差し指を切り、切創を負った。	22	8	379	100 ～ 299
26	2020	9	9 ～ 10	天井裏に設置される排気ファンの点検を行う際、点検口下に脚立を掛け、天井裏へ上り、作業位置へ向かおうと天井支持軽鉄へ足場板を置き、両足で足場板の上に乗ろうとした際、足場板ごと天井ボード（2m×2m）が壊れ3m下の床に落下し、左脛骨天蓋外骨折を負った。	43	9	418	300 ～ 499
27	2020	9	11 ～ 12	自動化機器の連続工程で、ラベリング機器に接続されているメタルボックス（高さ40～50cm）を跨ごうとしたところ、つまずき、自動化機器の側面に頭部を接触しながら床面に転倒し、脳震とう、右肋間筋挫傷を負った。	49	2	417	100 ～ 299
28	2020	9	15 ～ 16	段ボールを折りたたんで台車に積み込む作業中、台車枠よりも50～60cm上に積み重ねていたため荷崩れを起こし、段ボールの一辺が左目に当たって眼球打撲、角膜上皮剥離を負った。	45	5	611	300 ～ 499

29	2020	10	8 ～ 9	工場内で、機械の準備作業にて粉の攪拌機の、内部点検のため、粉の排出口にあるゲートバルブ（開閉口約50cm×30cm）を開放し、手を入れて確認したところ、ゲートバルブの開閉口が閉まって右手首が挟まり、打撲を負った。	49	7	169	30 ～ 49
30	2020	10	4 ～ 5	バルク抜きをしているとき、ホーススタンドに衝突し、左足を挫いて骨折した。	34	3	911	100 ～ 299
31	2020	10	13 ～ 14	ゲル剤調整室で、1.0%ゲルの調整し、タンクへ取り出し作業中、釜内部に付着しているゲル材をヘラで掻き落とし、中腰姿勢から上体を起こした際、椎間関節症を負った。	33	19	321	300 ～ 499
32	2020	10	14 ～ 15	体育館でハンドボールの練習中、ジャンプシュートをして着地の際に右膝に痛みが生じ、半月板損傷を負った。	32	19	921	100 ～ 299
33	2020	10	10 ～ 11	回収センターで、タンク内部点検のため養生中、タンク上部にいた作業員に工具を渡した後、バランスを崩し、作業踏み台（高さ約1.5m）から飛び降り、左足踵・背骨を折った。	48	3	371	100 ～ 299
34	2020	10	10 ～ 11	工場内で稼働中の混錬機へ追加の原料を投入する際、高温の膏体がコンテナに付着したことに気付かず、左右手のひらに火傷を負った。	44	11	162	100 ～ 299
35	2020	10	10 ～ 11	作業中、飛んできたコンテナをキャッチしたとき、付着していた高温の膏体が飛散し、左手親指の付け根に火傷を負った。	23	11	162	100 ～ 299
36	2020	11	9 ～ 10	工場で、4階から2階選別工程管理室へ移動中、4階目視選別室の入口横廊下でつまずき、壁に衝突し、額と口に裂傷、打ち身を負った。	63	3	921	100 ～ 299
37	2020	11	14 ～	倉庫棟のサンプリング室で作業中、原料30kg入りの袋を手で持ち上げたとき、急激に腰が痛くなり、腰椎椎間板ヘルニアを発症した。	55	19	921	30 ～

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。